



ストラテジストの視点

松波塾

Vol.02 2023.9.7号

米国株調整完了の条件を再確認

米国株の調整完了条件を再確認

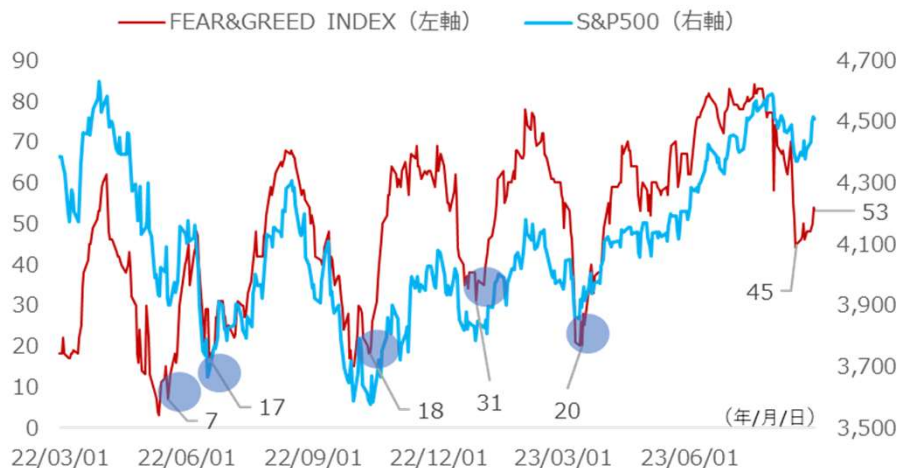
- 米国株の調整完了・本格反転の条件は「①実質10年実質金利の約1.8%越えでのピークアウト、②その後の1.5%割れ」としてきました。（図表1）
- 現状を確認すると、8/21に①条件達成の初期兆候（既報）と共に株価は反発、その後、再度の金利上昇で株価は小反落しました。（図表1）
- 株価の逆バリ指標であるFear and Greed Indexは株価底入れのトリガーである20割れに程遠く、調整完了の示唆はない模様です。（図表2）
- 調整完了確率の肌感覚？は55%程度と想定しています。

＜図表1＞ 実質金利平均1.8程度で頭打ち1.5%割れ⇒株価調整完了のサイン



※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

＜図表2＞ FEAR&GREED INDEX「陰の極・株価本格反転」のトリガーは20割れ



※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



ニッセイアセットマネジメント株式会社



ストラテジストの視点

松波塾

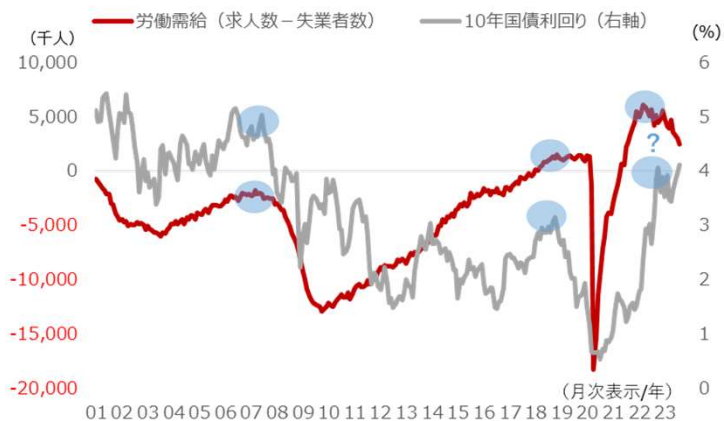
01 00 101 01 001 0111 01110
01 01 001 0001 0010 0100 100111
001 1100 110000 100 1 00 1101/
01 01 001 0001 0010 01000 100111
001 1100 110000 100 1 00 1101/
11 00 101 01 001 0
01 01 001 0001

実質金利ピークアウト&低下（株価調整完了の条件） 達成への見立ては？

- 以下（１）～（３）等を踏まえると名目金利ピークアウトが視野に入る、10年実質金利の上昇余地も2%を大きく越える余力はないと見ています。
 - （１）労働需給（求人数－失業者数）ピークアウトと10年金利ピークアウトは概ね一致しており、今後の金利ピークアウトを示唆（図表3）
 - （２）世界景気の先行指標である銅価格に10年金利は約9ヶ月後追いつき推移する傾向があるが、今後のピークアウトを示唆（図表4）
 - （３）10年名目金利90日平均からの乖離幅+0.8%程度で金利が頭打ちするアノマリーを踏まえると金利上昇余地は最大で4.5%程度

⇒10年実質金利が2%を大きく越える余力はないとの見立てであり、2%にできるだけ近づけて頭打ちを見て株価の下値を丁寧に拾いたいと考えています。

＜図表3＞ 労働需給ピークアウトは
金利ピークアウトを示唆



＜図表4＞ 米10年債利回りは遠からず
ピークアウト？



※Bloombergのデータを基にニッセイアセットマネジメント作成

※本稿に記載された意見、推定、見通しは、本稿の日付時点における執筆者の分析・判断に基づいています。それらは必ずしもニッセイアセットマネジメントの意見を反映しているとは限らず、また予告なしに変更される場合があります。



ニッセイアセットマネジメント株式会社



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等： ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第369号
加入協会： 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>